



startup (ブール値テスト) ~ write mib-data

- startup (ブール値テスト), 3 ページ
- startup (存在テスト), 5 ページ
- startup (しきい値テスト), 7 ページ
- test (イベント トリガー), 9 ページ
- test snmp trap auth-framework sec-violation, 12 ページ
- test snmp trap bridge, 13 ページ
- test snmp trap c6kxbar, 15 ページ
- test snmp trap call-home, 18 ページ
- test snmp trap config-copy, 20 ページ
- test snmp trap dhcp bindings, 22 ページ
- test snmp trap dhcp-snooping bindings, 23 ページ
- test snmp trap dot1x, 24 ページ
- test snmp trap entity-diag, 25 ページ
- test snmp trap errdisable ifevent, 27 ページ
- test snmp trap flex-links status, 28 ページ
- test snmp trap fru-ctrl, 29 ページ
- test snmp trap l2-control vlan, 31 ページ
- test snmp trap l2tc, 32 ページ
- test snmp trap mac-notification, 34 ページ
- test snmp trap module-auto-shutdown, 35 ページ
- test snmp trap port-security, 36 ページ
- test snmp trap power-ethernet port-on-off, 37 ページ

- test snmp trap snmp, 38 ページ
- test snmp trap stack, 40 ページ
- test snmp trap storm-control, 41 ページ
- test snmp trap stpx, 42 ページ
- test snmp trap syslog, 43 ページ
- test snmp trap trustsec, 45 ページ
- test snmp trap trustsec-interface, 47 ページ
- test snmp trap trustsec-policy, 49 ページ
- test snmp trap trustsec-server, 51 ページ
- test snmp trap trustsec-sxp, 53 ページ
- test snmp trap udd, 55 ページ
- test snmp trap vswitch dual-active, 56 ページ
- test snmp trap vswitch vsl, 58 ページ
- test snmp trap vtp, 59 ページ
- test snmp trap vtp pruning-change, 61 ページ
- type (存在テスト), 62 ページ
- url (bulkstat), 64 ページ
- value (ブール値テスト), 67 ページ
- value type, 69 ページ
- wildcard (式), 72 ページ
- write mib-data, 74 ページ

startup (ブール値テスト)

ブール値トリガーテストのイベントをトリガーできるかどうかを指定するには、イベントトリガーブール値コンフィギュレーションモードで **startup** コマンドを使用します。設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

startup

no startup

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ブール値トリガーテストがイネーブルの場合、起動イベントはイネーブルです。

コマンドモード

イベントトリガーブール値コンフィギュレーション (config-event-trigger-boolean)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン

startup コマンドは、ブール値トリガーテストに指定された条件が満たされた場合にイベントをトリガーします。

例

次に、ブール値トリガーテストに **startup** を指定する例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name EventA
Router(config-event-trigger)# test boolean
Router(config-event-trigger-boolean)# startup
Router(config-event-trigger-boolean)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
test	トリガー テストをイネーブルにします。

startup (存在テスト)

存在トリガーテストのイベントをトリガーできるかどうかを指定するには、イベントトリガー存在コンフィギュレーションモードで **startup** コマンドを使用します。設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

startup {present| absent}

no startup {present| absent}

構文の説明

present	存在トリガー条件が満たされると、present 起動テストをトリガーします。
absent	存在トリガー条件が満たされると、absent 起動テストをトリガーします。

コマンド デフォルト

デフォルトでは、present および absent の両方の起動テストがトリガーされます。

コマンド モード

イベント トリガー存在コンフィギュレーション (config-event-trigger-existence)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン

startup コマンドは、存在トリガー テストに指定された条件が満たされた場合にイベントをトリガーします。

例

次に、存在トリガー テストに **startup** を指定する例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name EventA
Router(config-event-trigger) # test existence
Router(config-event-trigger-existence) # startup
Router(config-event-trigger-existence) # end
```

関連コマンド

コマンド	説明
test	トリガー テストをイネーブルにします。

startup (しきい値テスト)

しきい値トリガーテストのイベントをトリガーできるかどうかを指定するには、イベントトリガーしきい値コンフィギュレーションモードで **startup** コマンドを使用します。設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

startup {rising| falling| rise-or-falling}

no startup

構文の説明

rising	トリガータイプがしきい値の場合、起動時に設定値に対してチェックする上昇しきい値を指定します。
falling	トリガータイプがしきい値の場合、起動時に設定値に対してチェックする下限しきい値を指定します。
rise-or-falling	トリガータイプがしきい値の場合、起動時に設定値に対してチェックする上昇しきい値または下限しきい値を指定します。768 ビットは、デフォルト値です。

コマンド デフォルト

トリガータイプがしきい値の場合、起動時に設定値に対して上昇しきい値または下限しきい値がチェックされます。

コマンド モード

イベント トリガーしきい値コンフィギュレーション (config-event-trigger-threshold)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン

startup コマンドは、しきい値トリガーテストの条件が満たされた場合にイベントを開始します。

例

次に、しきい値トリガー テストに `startup` を指定する例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name EventA
Router(config-event-trigger)# test threshold
Router(config-event-trigger-threshold)# startup rising
Router(config-event-trigger-threshold)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>test</code>	トリガー テストをイネーブルにします。

test (イベントトリガー)

イベントトリガー時に実行するテストタイプを指定するには、イベントトリガーコンフィギュレーションモードで **test** コマンドを使用します。トリガーテスト設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

test {existence| boolean| threshold}

no test {existence| boolean| threshold}

構文の説明

existence	存在トリガーテストをイネーブルにします。
boolean	ブール値トリガーテストをイネーブルにします。ブール値テストは、イベントトリガー中に実行されるデフォルトのトリガーテストです。
threshold	しきい値トリガーテストをイネーブルにします。

コマンドデフォルト

ブール値トリガーテストはデフォルトでイネーブルです。

コマンドモード

イベントトリガーコンフィギュレーション (config-event-trigger)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン

イベントMIBのトリガーテーブルには、トリガーに対して実行されるテストタイプに基づいて設定された追加オブジェクトの補足テーブルがあります。存在、しきい値、ブール値などの各ト

リガー エントリ タイプに対して、対応するテーブル (existence テーブル、threshold テーブル、および Boolean テーブル) に、テストの実行に必要な情報が格納されています。 イベントトリガーを存在、しきい値、およびブール値トリガー タイプに基づいて設定できます。

存在トリガー テストは次のパラメータに基づいて実行されます。

- Absent
- Present
- Changed

ブール値テストは、次のパラメータのいずれかに基づいて実行される比較テストです。

- Unequal
- Equal
- Less
- Less Or Equal
- Greater
- Greater Or Equal

しきい値テストは次のパラメータに基づいて実行されます。

- Rising
- Falling
- Rising or Falling

例

次に、存在トリガー テストをイネーブルにする例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name triggerA
Router(config-event-trigger)# test existence
Router(config-event-trigger-existence)#
```

次に、ブール値トリガー テストをイネーブルにする例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name EventA
Router(config-event-trigger)# test boolean
Router(config-event-trigger-boolean)#
```

次に、しきい値トリガー テストをイネーブルにする例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name triggerA
Router(config-event-trigger)# test threshold
Router(config-event-trigger-threshold)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
comparison	実行するブール値比較のタイプを指定します。

コマンド	説明
event owner	トリガーのトリガータイプおよびステータスに従ってイベントトリガーのイベントオーナーを指定します。
object list	イベント中のオブジェクトのリストを設定します。
startup	ブール値、存在、またはしきい値トリガーテストのイベントをトリガーできるかどうかを指定します。
value	ブール値トリガーテストの値を設定します。

test snmp trap auth-framework sec-violation

CISCO-AUTH-FRAMEWORK-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap auth-framework sec-violation** コマンドを使用します。

test snmp trap auth-framework sec-violation

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP camSecurityViolationNotif トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap auth-framework sec-violation
cafSecurityViolationNotif was disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP camSecurityViolationNotif トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap auth-framework sec-violation
cafSecurityViolationNotif was sent.
Router#
```

test snmp trap bridge

BRIDGE-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap bridge** コマンドを使用します。

test snmp trap bridge {newroot| topologychange}

構文の説明

newroot	SNMP newRoot 通知をテストします。
topologychange	SNMP topologyChange 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、snmp-server enable traps bridge newroot が設定されていない場合の **test snmp trap bridge newroot** の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap bridge newroot
newRoot notification is disabled.
Router#
```

次に、snmp-server enable traps bridge newroot が設定されている場合の **test snmp trap bridge newroot** の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap bridge newroot
newRoot notification was sent.
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps bridge	SNMP BRIDGE-MIB 通知をイネーブルにします。

test snmp trap c6kxbar

CISCO-CAT6K-CROSSBAR-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap c6kxbar** コマンドを使用します。

test snmp trap c6kxbar {flowctrl-bus| intbus-crcvrd| intbus-crcexcd| swbus| tm-channel-above| tm-channel-below| tm-swbus-above| tm-swbus-below}

構文の説明

flowctrl-bus	SNMP cc6kxbarFlowCtrlBusThrExcdNotif 通知をテストします。
intbus-crcvrd	SNMP cc6kxbarIntBusCRCErrRcvrdNotif 通知をテストします。
intbus-crcexcd	SNMP cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif 通知をテストします。
swbus	SNMP cc6kxbarSwBusStatusChangeNotif 通知をテストします。
tm-channel-above	cc6kxbarTMChUtilAboveNotif 通知をテストします。
tm-channel-below	cc6kxbarTMChUtilBelowNotif 通知をテストします。
tm-swbus-above	cc6kxbarTMSwBusUtilAboveNotif 通知をテストします。
tm-swbus-below	cc6kxbarTMSwBusUtilBelowNotif 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。
12.2(33)SX15	tm-channel-above 、 tm-channel-below 、 tm-swbus-above 、および tm-channel-below キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

flowctrl-bus キーワードは、Supervisor Engine 32 でのみサポートされます。

tm-channel-above および **tm-channel-below** キーワードは、Supervisor Engine 32 ではサポートされていません。

例

次に、設定されていない場合の SNMP `cc6kxbarFlowCtrlBusThrExcdNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap c6kxbar flowctrl-bus
cc6kxbarFlowCtrlBusThrExcdNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP `cc6kxbarFlowCtrlBusThrExcdNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap c6kxbar flowctrl-bus
cc6kxbarFlowCtrlBusThrExcdNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP `cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap c6kxbar intbus-crcexcd
cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP `cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap c6kxbar intbus-crcexcd
cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP `cc6kxbarIntBusCRCErrRcvrdNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar intbus-crcvrd
cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP `cc6kxbarIntBusCRCErrRcvrdNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar intbus-crcvrd
cc6kxbarIntBusCRCErrExcdNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP `cc6kxbarSwBusStatusChangeNotif` 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar swbus
```



```
cc6kxbarSwBusStatusChangeNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cc6kxbarSwBusStatusChangeNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar swbus
cc6kxbarSwBusStatusChangeNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP cc6kxbarTMChUtilAboveNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-channel-above
cc6kxbarTMChUtilAboveNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cc6kxbarTMChUtilAboveNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-channel-above
cc6kxbarTMChUtilAboveNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP cc6kxbarTMChUtilBelowNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-channel-below
cc6kxbarTMChUtilBelowNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cc6kxbarTMChUtilBelowNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-channel-below
cc6kxbarTMChUtilBelowNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP cc6kxbarTMSwBusUtilAboveNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-swbus-above
cc6kxbarTMSwBusUtilAboveNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cc6kxbarTMSwBusUtilAboveNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-swbus-above
cc6kxbarTMSwBusUtilAboveNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP cc6kxbarTMSwBusUtilBelowNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-swbus-below
cc6kxbarTMSwBusUtilBelowNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cc6kxbarTMSwBusUtilBelowNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap c6kxbar tm-swbus-below
cc6kxbarTMSwBusUtilBelowNotif notification was sent.
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps c6kxbar	SNMP c6kxbar 通知トラップをイネーブルにします。

test snmp trap call-home

CISCO-CALLHOME-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap call-home** コマンドを使用します。

test snmp trap call-home {message-send-fail| server-fail}

構文の説明

message-send-fail	SNMP ccmSmtplibMsgSendFailNotif 通知をテストします。
server-fail	SNMP ccmSmtplibServerFailNotif 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ccmSmtplibMsgSendFailNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap call-home message-send-fail
ccmSmtplibMsgSendFailNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP ccmSmtplibMsgSendFailNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap call-home message-send-fail
ccmSmtplibMsgSendFailNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP ccmSmtplibServerFailNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap call-home server-fail
ccmSmtplibServerFailNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP ccmSmtServerFailNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap call-home server-fail
ccmSmtServerFailNotif notification was sent.
Router#
```

test snmp trap config-copy

ネットワーク管理システム (NMS) またはシミュレーションシナリオの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) マネージャによる config-copy 通知の受信を確認するには、特権 EXEC モードで **test snmp trap config-copy** コマンドを使用します。

test snmp trap config-copy

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。

使用上のガイドライン

Config-Copy MIB を使用すると、スタートアップ コンフィギュレーションまたはローカルの Cisco IOS ファイル システムへの SNMP エージェント コンフィギュレーション ファイルのコピーまたはその逆が容易になります。config-copy 通知は、NMS または SNMP マネージャに送信され、SNMP エージェントとの config-copy 操作が正常に完了したことを示します。

例

次に、config-copy トラップの確認をシミュレートする例を示します。

```
Router#
test snmp trap config-copy
Generating CONFIG-COPY-MIB trap
00:20:44: SNMP: Queuing packet to 10.2.14.2
00:20:44: SNMP: V2 Trap, reqid 2, errstat 0, erridx 0
sysUpTime.0 = 124470
snmpTrapOID.0 = ccCopyMIBTraps.1
ccCopyTable.1.5.2 = 10.10.10.10
ccCopyTable.1.6.2 =
ccCopyTable.1.10.2 = 3
ccCopyTable.1.11.2 = 124470
ccCopyTable.1.12.2 = 124470
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug snmp packet	ルータで送受信された各 SNMP パケットに関する情報を表示します。
snmp-server enable traps	システムで使用可能なすべての SNMP 通知タイプをイネーブルにします。
snmp-server host	SNMP 通知動作の指定

test snmp trap dhcp bindings

cdsBindingsNotification トラップをテストするには、**test snmp trap dhcp bindings EXEC** コマンドを使用します。

test snmp trap dhcp bindings

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドのサポートが Catalyst 6500 シリーズ スイッチに追加されました。

例

次に cdsBindingsNotification トラップをテストする例を示します。

```
Router# test snmp trap dhcp bindings
cdsBindingsNotification notification is disabled.
```

test snmp trap dhcp-snooping bindings

cdsBindingsNotification トラップをテストするには、**test snmp trap dhcp-snooping bindings** 特権 EXEC コマンドを使用します。

test snmp trap dhcp-snooping bindings

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドのサポートが Catalyst 6500 シリーズに追加されました。

例

次に cdsBindingsNotification トラップをテストする例を示します。

```
Router# test snmp trap dhcp-snooping bindings
cdsBindingsNotification notification is disabled.
```

test snmp trap dot1x

CISCO-PAE-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap dot1x** コマンドを使用します。

test snmp trap dot1x {auth-fail-vlan| guest-vlan| no-auth-fail-vlan| no-guest-vlan}

構文の説明

auth-fail-vlan	SNMP cpaeAuthFailVlanNotif 通知をテストします。
guest-vlan	SNMP cpaeGuestVlanNotif 通知をテストします。
no-auth-fail-vlan	SNMP cpaeNoAuthFailedVlanNotif 通知をテストします。
no-guest-vlan	SNMP cpaeNoGuestVlanNotif 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cpaeAuthFailVlanNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap dot1x auth-fail-vlan
cpaeAuthFailVlanNotif notification was disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cpaeAuthFailVlanNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap dot1x auth-fail-vlan
cpaeAuthFailVlanNotif notification was sent.
Router#
```


test snmp trap entity-diag

CISCO-ENTITY-DIAG-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap c6kxbar** コマンドを使用します。

test snmp trap entity-diag {boot-up-fail| hm-test-recover| hm-thresh-reached| scheduled-test-fail}

構文の説明

boot-up-fail	SNMP ceDiagBootUpFailedNotif 通知をテストします。
hm-test-recover	SNMP ceDiagHMTestRecoverNotif 通知をテストします。
hm-thresh-reached	SNMP ceDiagHMThresholdReachedNotif 通知をテストします。
scheduled-test-fail	SNMP ceDiagScheduledTestFailedNotif 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ceDiagBootupFailedNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap entity-diag boot-up-fail
ceDiagBootupFailedNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP ceDiagBootupFailedNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
```

```
snmp trap entity-diag boot-up-fail
ceDiagBootupFailedNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP ceDiagHMTTestRecoverNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap dot1x hm-test-recover
ceDiagHMTTestRecoverNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP ceDiagHMTTestRecoverNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap dot1x hm-test-recover
ceDiagHMTTestRecoverNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP ceDiagHMThresholdReachedNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap entity-diag hm-thresh-reached
ceDiagHMThresholdReachedNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP ceDiagHMThresholdReachedNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap entity-diag hm-thresh-reached
ceDiagHMThresholdReachedNotif notification was sent.
Router#
```

次に、設定されていない場合の SNMP ceDiagScheduledTestFailedNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap entity-diag scheduled-test-fail
ceDiagHMThresholdReachedNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP ceDiagScheduledTestFailedNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test snmp trap entity-diag scheduled-test-fail
ceDiagHMThresholdReachedNotif notification was sent.
Router#
```

test snmp trap errdisable ifevent

CISCO-ERR-DISABLE-MIB cErrDisableInterfaceEventRev1 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap errdisable ifevent** コマンドを使用します。

test snmp trap errdisable ifevent

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、snmp-server enable traps errdisable が設定されていない場合の **test snmp trap errdisable ifevent** の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap errdisable ifevent
cErrDisableInterfaceEventRev1 notification is disabled.
Router#
```

次に、snmp-server enable traps errdisable が設定されている場合の **test snmp trap errdisable ifevent** の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap errdisable ifevent
cErrDisableInterfaceEventRev1 notification was sent.
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps errdisable	SNMP errdisable 通知をイネーブルにします。

test snmp trap flex-links status

CISCO-FLEX-LINKS-MIB cflIfStatusChangeNotif traps 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap flex-links status** コマンドを使用します。

test snmp trap flex-links status

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cflIfStatusChangeNotif トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap flex-links status
cflIfStatusChangeNotifnotification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cflIfStatusChangeNotif トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap flex-links status
cflIfStatusChangeNotif notification was sent.
Router#
```

test snmp trap fru-ctrl

CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap fru-ctrl** コマンドを使用します。

test snmp trap fru-ctrl {insert| module-status| power-status| ps-out-change| remove}

構文の説明

insert	SNMP cefcFRUInserted 通知をテストします。
module-status	SNMP cefcModuleStatusChange 通知をテストします。
power-status	SNMP cefcPowerStatusChange 通知をテストします。
ps-out-change	SNMP cefcPowerSupplyOutputChange 通知をテストします。
remove	SNMP cefcFRURemoved 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cefcFRUInserted トラップ テストの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap fru-ctrl insert
cefcFRUInserted notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cefcFRUInserted トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap fru-ctrl insert
cefcFRUInserted notification was sent.
Router#
```

test snmp trap l2-control vlan

CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB clcVLANMacLimitNotif トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap l2-control vlan** コマンドを使用します。

test snmp trap l2-control vlan

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の clcVLANMacLimitNotif トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap l2-control vlan
clcVLANMacLimitNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP clcVLANMacLimitNotif トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap l2-control vlan
clcVLANMacLimitNotif notification was sent.
Router#
```

test snmp trap l2tc

CISCO-L2-TUNNEL-CONFIG-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap l2tc** コマンドを使用します。

test snmp trap l2tc {drop| shutdown| sys-threshold}

構文の説明

drop	SNMP cltcTunnelDropThresholdExceeded 通知をテストします。
shutdown	SNMP cltcTunnelShutdwonThresholdExceeded 通知をテストします。
sys-threshold	SNMP cltcTunnelSysDropThresholdExceeded 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の cltcTunnelDropThresholdExceeded トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap l2tc drop
cltcTunnelDropThresholdExceeded notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cltcTunnelDropThresholdExceeded トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap l2tc drop
```



```
cltcTunnelDropThresholdExceeded notification was sent.  
Router#
```

test snmp trap mac-notification

CISCO-MAC-NOTIFICATION-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap mac-notification** コマンドを使用します。

test snmp trap mac-notification {change| move| threshold}

構文の説明

change	SNMP cmnMacChangeNotification 通知をテストします。
move	SNMP cmnMacMoveNotification 通知をテストします。
threshold	SNMP cmnMacThresholdExceedNotif 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cmnMacChangeNotification トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap mac-notification change
cmnMacChangeNotification notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cmnMacChangeNotification トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap mac-notification change
cmnMacChangeNotification notification was sent.
Router#
```

test snmp trap module-auto-shutdown

CISCO-MODULE-AUTO-SHUTDOWN-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap module-auto-shutdown** コマンドを使用します。

test snmp trap module-auto-shutdown {auto-shutdown| sys-action}

構文の説明

auto-shutdown	SNMP cmasModuleAutoShutdown 通知をテストします。
sys-action	SNMP cmasModuleSysActionNotif 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cmasModuleAutoShutdown トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap module-auto-shutdown auto-shutdown
cmasModuleAutoShutdown notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cmasModuleAutoShutdown トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap module-auto-shutdown auto-shutdown
cmasModuleAutoShutdown notification is sent.
Router#
```

test snmp trap port-security

CISCO-PORT-SECURITY-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap port-security** コマンドを使用します。

test snmp trap port-security {ifvlan-mac| mac}

構文の説明

ifvlan-mac	SNMP cpsIfVlanSecureMacAddrViolation 通知をテストします。
mac	SNMP cpsSecureMacAddrViolation 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cpsIfVlanSecureMacAddrViolation トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap port-security ifvlan-mac
cpsIfVlanSecureMacAddrViolation notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cpsIfVlanSecureMacAddrViolation トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap port-security ifvlan-mac
cpsIfVlanSecureMacAddrViolation notification was sent.
Router#
```

test snmp trap power-ethernet port-on-off

POWER-ETHERNET-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap power-ethernet** コマンドを使用します。

test snmp trap power-ethernet port-on-off

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXI	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP pethPsePortOnOffNotification トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap power-ethernet port-on-off
pethPsePortOnOffNotification notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP pethPsePortOnOffNotification トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap power-ethernet port-on-off
pethPsePortOnOffNotification notification was sent.
Router#
```

test snmp trap snmp

ネットワーク管理システム (NMS) またはシミュレーションシナリオの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) マネージャによる SNMP 通知の受信を確認するには、特権 EXEC モードで **test snmp trap snmp** コマンドを使用します。

test snmp trap snmp {authentication| coldstart| linkup| linkdown| warmstart}

構文の説明

authentication	SNMP マネージャによる SNMP 認証失敗通知の生成および受信を確認します。認証失敗トラップは、SNMP エージェントが適切に認証されていない SNMP マネージャからプロトコルメッセージを受信したことを示します。
coldstart	SNMP マネージャによる SNMP coldStart 通知の生成および受信を確認します。coldStart トラップは、SNMP エージェントが再初期化し、設定が変更された可能性があることを示します。
linkup	SNMP マネージャによる SNMP リンクアップ通知の生成および受信を確認します。リンクアップトラップは、エージェントの設定で示されている通信リンクがアクティブになっているかどうかを示します。
linkdown	SNMP マネージャによる SNMP リンクダウン通知の生成および受信を確認します。リンクダウントラップは、エージェントの設定で示されている通信リンクが失敗したかどうかを示します。
warmstart	SNMP マネージャによる SNMP warmStart 通知の生成および受信を確認します。warmStart トラップは、SNMP エージェントが再初期化し、設定が変更されたことを示します。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。

使用上のガイドライン

SNMP トラップまたは通知は、不正なユーザ認証、再起動、接続の切断、隣接ルータとの接続の切断などの重要なイベントに関する情報を NMS に提供します。

SNMP トラップをテストする前に、デバイスの SNMP マネージャを設定し、SNMP トラップをイネーブルにします。

例

次に、認証失敗トラップの確認をシミュレートする例を示します。

```
Router#
test snmp trap snmp authentication
Generating Authentication failure trap
Sep 12 08:37:49.935: SNMP: Queuing packet to 10.4.9.2
Sep 12 08:37:49.935: SNMP: V1 Trap, ent snmpTraps, addr 192.168.0.1, gentrap 4
lsystem.5.0 = 10.10.10.10
  ciscoMgmt.412.1.1.1.0 = 1
  ciscoMgmt.412.1.1.2.0 = 10.10.10.10
Sep 12 08:38:55.995: SNMP: Packet sent via UDP to 10.4.9.2
Sep 12 08:38:56.263: SNMP: Packet sent via UDP to 10.4.9.2
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug snmp packet	ルータで送受信された各 SNMP パケットに関する情報を表示します。
snmp-server enable traps	システムで使用可能なすべての SNMP 通知タイプをイネーブルにします。
snmp-server host	SNMP 通知動作の指定

test snmp trap stack

CISCO-STACK-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap stack** コマンドを使用します。

test snmp trap stack {chassis-off| chassis-on| module-down| module-up}

構文の説明

chassis-off	SNMP chassisAlarmOff 通知をテストします。
chassis-on	SNMP chassisAlarmOn 通知をテストします。
module-down	SNMP moduleDown 通知をテストします。
module-up	SNMP moduleUp 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP chassisAlarmOff トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap stack chassis-off
chassisAlarmOff notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP chassisAlarmOff トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap stack chassis-off
chassisAlarmOff notification was sent.
Router#
```


test snmp trap storm-control

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) の CISCO-PORT-STORM-CONTROL-MIB トラップをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap storm-control** コマンドを使用します。

test snmp trap storm-control event-rev1

構文の説明

event-rev1	cpsecEventRev1 トラップをテストします。
-------------------	-----------------------------

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SXJ	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

SNMP トラップまたは通知は、ストーム制御イベントに関する情報を提供します。

例

次に、SNMP CISCO-PORT-STORM-CONTROL-MIB トラップをテストする例を示します。

```
Router#
test snmp trap storm-control event-rev1
cpsecEventRev1 notification was sent.
Router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps storm-control	SNMP ストーム制御トラップ通知をイネーブルにします。
snmp-server host	SNMP 通知動作の指定

test snmp trap stpx

CISCO-STP-EXTENSIONS-MIB トラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap stpx** コマンドを使用します。

test snmp trap stpx {inconsistency| loop-inconsistency| root-inconsistency}

構文の説明

inconsistency	SNMP stpxInconsistencyUpdate 通知をテストします。
loop-inconsistency	SNMP stpxLoopInconsistencyUpdate 通知をテストします。
root-inconsistency	SNMP stpxRootInconsistencyUpdate 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP stpxInconsistencyUpdate トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap stpx inconsistency
stpxInconsistencyUpdate notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP stpxInconsistencyUpdate トラップの出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap stpx inconsistency
stpxInconsistencyUpdate notification was sent.
Router#
```

test snmp trap syslog

シミュレーションシナリオの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) マネージャによるシステム ロギング メッセージ SNMP 通知の受信を確認するには、特権 EXEC モードで **test snmp trap syslog** コマンドを使用します。

test snmp trap syslog

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。

使用上のガイドライン

システム ロギング メッセージは、操作の間にルーティングデバイスで生成されたステータス通知メッセージです。これらのメッセージは、通常は宛先（端末画面、リモート syslog ホストなど）に記録されます。

例

次に、NMS による syslog トラップとその受信を複製する例を示します。

```
Router# test snmp trap syslog
Generating SYSLOG-MIB Trap
00:07:25: SNMP: Queuing packet to 10.4.9.2
00:07:25: SNMP: V1 Trap, ent ciscoSyslogMIB.2, addr 192.16.12.8, gentrap 6, spectra
  clogHistoryEntry.2.1 = TEST
  clogHistoryEntry.3.1 = 5
  clogHistoryEntry.4.1 = 1.3.6.1.4.1.9.9.10.1
  clogHistoryEntry.5.1 = Syslog test trap
  clogHistoryEntry.6.1 = 44596
00:07:25: SNMP: Queuing packet to 10.4.9.2
00:07:25: SNMP: V2 Trap, reqid 4, errstat 0, erridx 0
  sysUpTime.0 = 44596
  snmpTrapOID.0 = ciscoSyslogMIB.2.0.1
  clogHistoryEntry.2.1 = TEST
  clogHistoryEntry.3.1 = 5
  clogHistoryEntry.4.1 = 1.3.6.1.4.1.9.9.10.1
  clogHistoryEntry.5.1 = Syslog test trap
  clogHistoryEntry.6.1 = 44596
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug snmp packet	ルータで送受信された各 SNMP パケットに関する情報を表示します。
snmp-server enable traps	システムで使用可能なすべての SNMP 通知タイプをイネーブルにします。
snmp-server host	SNMP 通知動作の指定

test snmp trap trustsec

CISCO-TRUSTSEC-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap trustsec** コマンドを使用します。

test snmp trap trustsec {authz-file-error| cache-file-error| keystore-file-error| keystore-sync-fail| random-number-fail| src-entropy-fail}

構文の説明

authz-file-error	SNMP ctsAuthzCacheFileErrNotif 通知をテストします。
cache-file-error	SNMP ctsCacheFileAccessErrNotif 通知をテストします。
keystore-file-error	SNMP ctsSwKeystoreFileErrNotif 通知をテストします。
keystore-sync-fail	SNMP ctsSwKeystoreSyncFailNotif 通知をテストします。
random-number-fail	SNMP ctsSapRandomNumberFailNotif 通知をテストします。
src-entropy-fail	SNMP ctsSrcEntropyFailNotif 通知をテストします。

コマンドモード

特権 EXEC (#)。

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.1(1)SY	このコマンドが導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ctsAuthzCacheFileErrNotif トラップテストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec authz-file-error
ctsAuthzCacheFileErrNotif notification is disabled.
```

次に、設定されている場合の SNMP ctsAuthzCacheFileErrNotif トラップ テストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec authz-file-error  
ctsAuthzCacheFileErrNotif notification was sent.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps trustsec	SNMP trustsec 通知のトラップおよびインフォームをイネーブルにします。

test snmp trap trustsec-interface

CISCO-TRUSTSEC-INTERFACE-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap trustsec-interface** コマンドを使用します。

test snmp trap trustsec-interface {authc-fail| authz-fail| sap-fail| supplicant-fail| unauthorized}

構文の説明

authc-fail	SNMP ctsiIfAuthenticationFailNotif 通知をテストします。
authz-fail	SNMP ctsiAuthorizationFailNotif 通知をテストします。
sap-fail	SNMP ctsiIfSapNegotiationFailNotif 通知をテストします。
supplicant-fail	SNMP ctsiIfAddSupplicantFailNotif 通知をテストします。
unauthorized	SNMP ctsiIfUnauthorizedNotif 通知をテストします。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.1(1)SY	このコマンドが導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ctsiIfAuthenticationFailNotif トラップテストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-interface authc-fail
ctsiIfAuthenticationFailNotif notification is disabled.
```

次に、設定されている場合の SNMP ctsiIfAuthenticationFailNotif トラップテストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-interface authc-fail  
ctsiIfAuthenticationFailNotif notification was sent.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps trustsec-interface	SNMP trustsec-interface 通知のトラップおよびインフォームをイネーブルにします。

test snmp trap trustsec-policy

CISCO-TRUSTSEC-POLICY-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap trustsec-policy** コマンドを使用します。

test snmp trap trustsec-policy {authz-sgacl-fail| peer-policy-updated}

構文の説明

authz-sgacl-fail	SNMP ctspAuthorizationSgaclFailNotif 通知をテストします。
peer-policy-updated	SNMP ctspPeerPolicyUpdatedNotif 通知をテストします。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.1(1)SY	このコマンドが導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ctspAuthorizationSgaclFailNotif トラップ テストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-policy authz-sgacl-fail
ctspAuthorizationSgaclFailNotif notification is disabled.
```

次に、設定されている場合の SNMP ctspAuthorizationSgaclFailNotif トラップ テストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-policy authz-sgacl-fail
ctspAuthorizationSgaclFailNotif notification was sent.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps trustsec-policy	SNMP trustsec-policy 通知のトラップおよびインフォームをイネーブルにします。

test snmp trap trustsec-server

CISCO-TRUSTSEC-SERVER-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap trustsec-server** コマンドを使用します。

test snmp trap trustsec-server {provision-secret| radius-server}

構文の説明

provision-secret	SNMP ctsvNoProvisionSecretNotif 通知をテストします。
radius-server	SNMP ctsvNoRadiusServerNotif 通知をテストします。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.1(1)SY	このコマンドが導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ctsvNoProvisionSecretNotif トラップ テストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-server provision-secret
ctsvNoProvisionSecretNotif notification is disabled.
```

次に、設定されている場合の SNMP ctsvNoProvisionSecretNotif トラップ テストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-sxp-server provision-secret
ctsvNoProvisionSecretNotif notification was sent.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps trustsec-server	SNMP trustsec-server 通知のトラップおよびインフォームをイネーブルにします。

test snmp trap trustsec-server

test snmp trap trustsec-sxp

CISCO-TRUSTSEC-SXP-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap trustsec-sxp** コマンドを使用します。

test snmp trap trustsec-sxp {binding-conflict| binding-err| binding-expn-fail| conn-config-err| conn-down| conn-srcaddr-err| conn-up| msg-parse-err| oper-nodeid-change}

構文の説明

binding-conflict	SNMP ctsxSxpBindingConflictNotif 通知をテストします。
binding-err	SNMP ctsxSxpBindingErrNotif 通知をテストします。
binding-expn-fail	SNMP ctsxSxpBindingExpnFailNotif 通知をテストします。
conn-config-err	SNMP ctsxSxpConnConfigErrNotif 通知をテストします。
conn-down	SNMP ctsxSxpConnDownNotif 通知をテストします。
conn-srcaddr-err	SNMP ctsxSxpConnSourceAddrErrNotif 通知をテストします。
conn-up	SNMP ctsxSxpConnUpNotif 通知をテストします。
msg-parse-err	SNMP ctsxSxpMsgParseErrNotif 通知をテストします。
oper-nodeid-change	SNMP ctsxSxpOperNodeIdChangeNotif 通知をテストします。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.1(1)SY	このコマンドが導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP ctsxSxpBindingConflictNotif トラップテストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-sxp binding-conflict
ctsxSxpBindingConflictNotif notification is disabled.
```

次に、設定されている場合の SNMP ctsxSxpBindingConflictNotif トラップテストの出力例を示します。

```
Device# test snmp trap trustsec-sxp binding-conflict
ctsxSxpBindingConflictNotif notification was sent.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps trustsec-sxp	SNMP trustsec-sxp 通知のトラップおよびインフォームをイネーブルにします。

test snmp trap udld

CISCO-UDLDP-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap udld** コマンドを使用します。

test snmp trap udld {link-fail-rpt| status-change}

構文の説明

link-fail-rpt	SNMP cudldpFastHelloLinkFailRptNotification 通知をテストします。
status-change	SNMP cudldFastHelloStatusChangeNotification 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP cudldpFastHelloLinkFailRptNotification 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap udld link-fail-rpt
cudldpFastHelloLinkFailRptNotification notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP cudldpFastHelloLinkFailRptNotification 通知の出力例を示します。

```
Router# test
snmp trap udld link-fail-rpt
cudldpFastHelloLinkFailRptNotification notification was sent.
Router#
```

test snmp trap vswitch dual-active

CISCO-VIRTUAL-SWITCH-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップ) をデュアルアクティブ状態で生成できるかどうかをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap vswitch dual-active** コマンドを使用します。

test snmp trap vswitch dual-active

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

CISCO-VIRTUAL-SWITCH-MIB SNMP 通知は送信されません。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.1(1)SY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

snmp-server enable traps vswitch dual-active コマンドは、デュアルアクティブ状態変更通知をイネーブルにします。VSS が状態をデュアルアクティブに変更すると、SNMP エージェントは cvsDualActiveDetectionNotif 通知を送信します。

test snmp trap vswitch dual-active コマンドを実行する前に、**snmp-server enable traps vswitch dual-active** コマンドをイネーブルにします。

例

次に、SNMP cvsDualActiveDetectionNotif 通知がイネーブルの場合の **test snmp trap vswitch dual-active** コマンドの出力例を示します。

```
Device(config)# snmp-server enable traps vswitch dual-active
Device(config)# exit
Device# test snmp trap vswitch dual-active

cvsDualActiveDetectionNotif notification was sent.
```

次に、SNMP cvsDualActiveDetectionNotif 通知がディセーブルの場合の **test snmp trap vswitch dual-active** コマンドの出力例を示します。

```
Device(config)# no snmp-server enable traps vswitch dual-active
Device(config)# exit
```



```
Device# test snmp trap vswitch dual-active  
cvsDualActiveDetectionNotif notification is disabled.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps vswitch dual-active	CISCO-VIRTUAL-SWITCH-MIB SNMP cvsDualActiveDetectionNotif 通知をイネーブルにします。
test snmp trap vswitch vsl	CISCO-VIRTUAL-SWITCH-MIB SNMP 通知 (トラップとインフォーム) をテストします。

test snmp trap vswitch vsl

CISCO-VIRTUAL-SWITCH-MIB 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 通知 (トラップとインフォーム) をテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap vswitch vsl** コマンドを使用します。

test snmp trap vswitch vsl

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定はありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。

例

次に、イネーブルになっていない場合の SNMP cvsVSLConnectionChangeNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap vswitch vsl
cvsVSLConnectionChangeNotif notification is disabled.
Router#
```

次に、イネーブルになっている場合の SNMP cvsVSLConnectionChangeNotif 通知の出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap vswitch vsl
cvsVSLConnectionChangeNotif notification was sent.
Router#
```

test snmp trap vtp

CISCO-VTP-MIBトラップの簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップおよびインフォームをテストするには、特権 EXEC モードで **test snmp trap vtp** コマンドを使用します。

test snmp trap vtp {digest-error| mode-change| port-status| pruning-change| rev-error| server-disable| v1-detected| version-change| vlan-create| vlan-delete}

構文の説明

digest-error	SNMP vtpConfigDigestError 通知をテストします。
mode-change	SNMP vtpLocalModeChange 通知をテストします。
port-status	SNMP vlanTrunkPortDynamicStatusChange 通知をテストします。
pruning-change	SNMP vtpPruningStateOperChange 通知をテストします。
rev-error	SNMP vtpConfigRevNumberError 通知をテストします。
server-disable	SNMP vtpServerDisabled 通知をテストします。
v1-detected	SNMP vtpVersionOneDeviceDetected 通知をテストします。
version-change	SNMP vtpVersionInUseChanged 通知をテストします。
vlan-create	SNMP vtpVlanCreated 通知をテストします。
vlan-delete	SNMP vtpVlanDeleted 通知をテストします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX1	このコマンドが、Supervisor Engine 720 および Supervisor Engine 32 に導入されました。

例

次に、設定されていない場合の SNMP vtpConfigDigestError トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap vtp digest-error
vtpConfigDigestError notification is disabled.
Router#
```

次に、設定されている場合の SNMP vtpConfigDigestError トラップの出力例を示します。

```
Router# test
  snmp trap vtp digest-error
vtpConfigDigestError notification was sent.
Router#
```

test snmp trap vtp pruning-change

vtpPruningStateOperChange トラップをテストするには、**test snmp trap vtp pruning-change EXEC** コマンドを使用します。

test snmp trap vtp pruning-change

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(33)SX14	このコマンドのサポートが Catalyst 6500 シリーズに追加されました。

例

次の例は、SNMP VTP トラップを先にイネーブルせずに vtpPruningStateOperChange をテストできないことを示しています。

```
Router# test snmp trap vtp pruning-change
vtpPruningStateOperChange notification is disabled.
次に vtpPruningStateOperChange をテストする例を示します。
```

```
Router# test snmp trap vtp pruning-change
vtpPruningStateOperChange notification is sent.
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server enable traps vtp	SNMP VTP トラップをイネーブルにします。

type (存在テスト)

実行する存在トリガーテストのタイプを指定するには、イベントトリガー存在コンフィギュレーションモードで **test** コマンドを使用します。指定されたトリガー テスト タイプをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

type {present| absent| changed}

no type {present| absent| changed}

構文の説明

present	存在テストのトリガー条件が present かどうかを指定します。
absent	存在テストのトリガー条件が absent かどうかを指定します。
changed	存在テストのトリガー条件が changed かどうかを指定します。

コマンド デフォルト

デフォルトでは、**present** および **absent** の両方のテストが実行されます。

コマンド モード

イベント トリガー存在コンフィギュレーション (config-event-trigger-existence)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン 存在トリガー テストは次のパラメータに基づいて実行されます。

- Absent

- Present
- Changed

テストタイプが指定されていない場合、present および absent の両方のテストが実行されます。

例

次に、存在トリガー テストを present として指定する例を示します。

```
Router(config)#snmp mib event trigger owner owner1 name triggerA
Router(config-event-trigger)# test existence
Router(config-event-trigger-existence)# type present
Router(config-event-trigger-existence)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
test	トリガー テストをイネーブルにします。

url (bulkstat)

バルク統計情報ファイルの転送先となるホストを指定するには、バルク統計情報転送コンフィギュレーションモードで **url** コマンドを使用します。以前に設定した宛先ホストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

url {primary| secondary} *url*

no url {primary| secondary}

構文の説明

primary	バルク統計情報転送の試行時に最初に使用する URL を指定します。
secondary	プライマリ URL に正常に転送されなかった場合、バルク統計情報転送の試行時に使用する URL を指定します。
<i>url</i>	<p>バルク統計情報ファイル転送の宛先 URL アドレス。FTP、RCP、または TFTP を使用します。次の URL の Cisco IOS ファイルシステム (IFS) の構文は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ftp: [[[//username[:password]@]location]/directory]/filename • rcp: [[[//username@]location]/directory]/filename • tftp: [[[//location]/directory]/filename <p><i>location</i> 引数は、通常は IP アドレスです。</p>

コマンド デフォルト ホストは指定されません。

コマンド モード バルク統計情報転送コンフィギュレーション (config-bulk-tr)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.0(24)S	このコマンドが導入されました。
12.3(2)T	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.3(2)T に統合されました。

リリース	変更内容
12.2(25)S	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(25)S に統合されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(33)SXH	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SXH に統合されました。
12.2(33)SB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SB に統合されました。
Cisco IOS XE Release 2.1	このコマンドが、Cisco IOS XE Release 2.1 に統合されました。

使用上のガイドライン

バルク統計情報転送の再試行では、1回の再試行は、まずプライマリ URL に送信し、次にセカンダリ URL に送信する試行で構成されます。

例

次の例では、FTP サーバはバルク統計情報ファイルのプライマリ宛先として使用されます。そのアドレスへの転送に失敗した場合、192.168.10.5 の TFTP サーバにファイルを送信しようとしません。retry コマンドは指定されていないため、各宛先への試行は 1 回のみ実行されます。

```
Router(config)# snmp mib bulkstat transfer ifMibTesting
Router(config-bulk-tr)# schema carMibTesting1
Router(config-bulk-tr)# schema carMibTesting2
Router(config-bulk-tr)# format bulkBinary
Router(config-bulk-tr)# transfer-interval 60
Router(config-bulk-tr)# buffer-size 10000
Router(config-bulk-tr)# url primary ftp://user2:pswd@192.168.10.5/functionality/
Router(config-bulk-tr)# url secondary tftp://user2@192.168.10.8/tftpboot/
Router(config-bulk-tr)# buffer-size 2500000
Router(config-bulk-tr)# enable
Router(config-bulk-tr)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
retry (bulkstat)	バルク統計情報ファイルの送信を試行する回数を設定します。

コマンド	説明
snmp mib bulkstat transfer	バルク統計情報転送設定を指定し、バルク統計情報転送コンフィギュレーションモードを開始します。

value (ブール値テスト)

ブール値トリガーテストの値を設定するには、イベントトリガールール値コンフィギュレーションモードで **value** コマンドを使用します。設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

value *integer-value*

no value

構文の説明

<i>integer-value</i>	ブール値テストに設定する数値。デフォルトは 0 です。
----------------------	-----------------------------

コマンド デフォルト

ブール値トリガーテスト値は 0 に設定されます。

コマンド モード

イベント トリガールール値コンフィギュレーション (config-event-trigger-boolean)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン

value コマンドは、ブール値トリガーテストに設定する値を指定します。

例

次に、ブール値トリガーテストに値を設定する例を示します。

```
Router(config)# snmp mib event trigger owner owner1 name triggerA
Router(config-event-trigger)# test boolean
Router(config-event-trigger-boolean)# value 10
Router(config-event-trigger-boolean)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
test	トリガー テストをイネーブルにします。

value type

オブジェクト サンプリング中に使用する式のタイプを指定するには、式コンフィギュレーションモードで **value type** コマンドを使用します。指定された値の種類をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

value type [counter32| unsigned32| timeticks| integer32| ipaddress| octetstring| objectid| counter64]

no value type

構文の説明

counter32	(任意) counter32 値を指定します。Counter32 は数を表す値を指定します。値の範囲は 0 ~ 4294967295 です。
unsigned32	(任意) 符号なし整数値を指定します。Unsigned32 は負でない整数のみを含む値を指定します。値の範囲は 0 ~ 4294967295 です。
timeticks	(任意) timeticks に基づいて値を指定します。timeticks は 2 イベント間の経過時間を指定する 100 分の 1 秒単位の負でない整数値を表します。 MIB オブジェクトが抽象構文記法 1 (ASN.1) のサブセットを使用して定義されている場合、オブジェクトタイプの説明は、この参照期間を示します。
integer32	(任意) integer32 値を指定します。Integer32 は、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) の 32 ビットの符号付き整数値を表します。値の範囲には、負と正の両方の数値が含まれます。
ipaddress	(任意) IP アドレスに基づいて値を指定します。IP アドレスは 4 オクテットのストリングです。IP アドレス値の種類は、通常は IPv4 アドレスです。この値は、ネットワークバイト順で 4 バイトとして符号化されます。
octetstring	(任意) octetstring に基づいて値を指定します。octetstring はバイナリまたはテキスト情報のオクテットを指定します。オクテットストリングの長さの範囲は 0 ~ 65535 オクテットです。

objectid	(任意) オブジェクトのオブジェクト ID に基づいて値を指定します。MIB 内の各オブジェクトタイプは、管理者が割り当てたオブジェクト ID 値によって識別されます。オブジェクト ID は、オブジェクト ID 値が割り当てられた値の種類を識別します。
counter64	(任意) counter64 値を指定します。counter64 は、counter32 と同様に数を表す値を指定します。ただし、counter64 の値の範囲は 0 ~ 18446744073709551615 です。この値の種類は、32 ビットカウンタのロールオーバーが 1 時間以内に発生した場合に使用されます。

コマンド デフォルト デフォルトの値の種類は counter32 です。

コマンド モード 式コンフィギュレーション モード (config-expression)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE に統合されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン value type コマンドは、式の評価の値を指定します。

例 次に、値の種類 counter32 を指定する例を示します。

```
Router(config)# snmp mib expression owner owner1 name ExpressionA
Router(config-expression)# value type counter32
Router(config-expression)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp mib expression owner	式のオーナーを指定します。

wildcard (式)

式の評価に使用されるオブジェクトをイベント設定時にワイルドカード化するかどうかを指定するには、式コンフィギュレーションモードで **wildcard** コマンドを使用します。ワイルドカードオブジェクト ID を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

wildcard

no wildcard

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

このコマンドは、デフォルトでイネーブルになっています。

コマンド モード

式コンフィギュレーション (config-expression)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.4(20)T	このコマンドが導入されました。
12.2(50)SY	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(50)SY に統合されました。

使用上のガイドライン

wildcard コマンドを使用すると、同じ MIB オブジェクトの複数のインスタンスに 1 つの式を適用できます。この選択を指定し、部分的なオブジェクト ID を入力すると、アプリケーションはオブジェクト値を取得し、オブジェクトのインスタンスを検出します。デフォルトでは、オブジェクトはインスタンスに基づいて識別され、ワイルドカード化されません。

例

次に、**wildcard** コマンドを使用してワイルドカードオブジェクト ID を指定する例を示します。

```
Router(config)# snmp mib expression owner owner1 name expression1
Router(config-expression)#object 2
Router(config-expression-object)# wildcard
Router(config-expression-object)# end
```


関連コマンド

コマンド	説明
object id	イベントに関連付けられるオブジェクトのオブジェクト ID を指定します。
snmp mib expression owner	式のオーナーを指定します。

write mib-data

MIB データ パーシステンスのために MIB データをシステム メモリ (NVRAM) に保存するには、EXEC モードで **write mib-data** コマンドを使用します。

write mib-data

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)M	このコマンドは、Cisco IOS Release 15.0(1)M よりも前のリリースに導入されました。
12.2(33)SRC	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2(33)SRC よりも前のリリースに統合されました。
12.2(33)SXI	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2(33)SXI よりも前のリリースに統合されました。
Cisco IOS XE Release 2.1	このコマンドが、Cisco ASR 1000 シリーズの集約サービス ルータに実装されました。

使用上のガイドライン

MIB データ パーシステンス機能を使用すると、MIB の SNMP データをリロード後も保持できます。つまり、特定の MIB オブジェクトの値は、ネットワーキングデバイスがリブートしても保持されます。

リリースで「MIB パーシステンス」をサポートしている MIB を特定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **snmp mib persist** コマンドを使用します。

MIB データに変更が発生した場合は、必ず **write mib-data** コマンドを使用してそれを NVRAM メモリに書き込まなければなりません。 **write mib-data** コマンドを使用しない場合、変更された MIB データは MIB パーシステンス機能がイネーブルになっていても、自動的に保存されません。 **write mib-data** コマンドを実行すると、現在の MIB データだけが保存されます。 MIB オブジェクトの値を変更した場合は、これらの値がリブート後も保持されるように、 **write mib-data** コマンドを再入力する必要があります。

例

次に、イベントMIBパーシステンスと回線MIBパーシステンスをイネーブルにし、これらのMIBのオブジェクト値を設定するための変更をNVRAMに保存する例を示します。

```
Router# configure terminal  
Router(config)# snmp mib persist circuit  
Router(config)# snmp mib persist event  
Router(config)# end  
Router# write mib-data
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp mib persist	MIB データ パーシステンスをイネーブルにします。

